

寄附講座「関節機能再建学講座」の設置

運動器疾患の正しい情報と高度な医療技術を提供

関節機能再建学 准教授

日野和典

2014年1月に愛媛大学に本邦初の統合型人工関節センターが設置されました。現在、年間300例を超える人工関節置換術のほかに、スポーツ障害に対する関節鏡視下手術（前十字靱帯再建術、半月板治療等）など多くの関節治療を実施しております。人工関節治療では日常生活動作が飛躍的に改善し、諦めていた農作業や趣味のゴルフの再開など患者さんからは「人生が変わった」との喜びの声を多くいただいています。しかし、大学手術枠の都合にて急増する需要に十分対応できず、手術を待機していただかなければならない状況でした。2019年4月に関節医療に特化した講座「関節機能再建学講座」を愛媛大学に、人工関節センターのサテライトの役割も有する施設として「関節治療センター」を南松山病院に開設し、患者さんの希望のタイミングでの手術にお応えできるようになりました。正確な医療情報の発信、安全・安心で最先端の関節医療の提供、専門的な医療人材の教育・養成、高い生活レベルに対応する人工関節の研究・開発を行い、地域の皆様の早期スポーツ復帰、健康寿命の延伸に貢献していく所存です。



PROFILE

ひのかずのり◎1998年愛媛大学医学部卒業。2008年より愛媛大学整形外科に勤務、2019年より現職。関節鏡技術認定医、日本スポーツ協会公認スポーツドクター、愛媛FC・FC今治の膝関節治療も担当。自身も長いサッカー経験がある。